

# もっと知りたい

## 武者小路実篤

# 自然がいっぱい さね あつ 実篤公園

## 植物マップ

子どもの頃から、水のあるところに住みたいという夢があった実篤は、ここ仙川の地（現・実篤公園）をとっても気に入って、70歳から90歳まで過ごしました。わき水や池、木をそのまま残すようにしたので、ここには今も、豊かな自然があるのです。

### 【実篤公園・上の池周辺】

植物名のうしろの数字は、関連する解説シート「もっと知りたい」の番号。観察しやすい場所を示しました。

**公園口受付**

**ツバキ(50)**

**カキノキ(51)**

**泉**

**上の池**

**スギ**  
かんそう  
乾燥させた葉っぱは、せんこう線香の材料になります。

**ヒガンバナ(51)**

**アオキ(雌株)(50)**  
めかぶ

**旧実篤邸**  
きゅうてい

**コナラ(50)**

**カラスウリ(雌株)(50)**  
めかぶ

**ノシラン(50)**

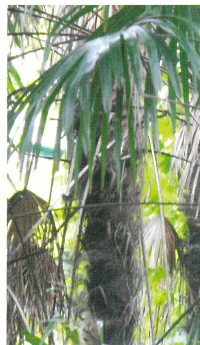
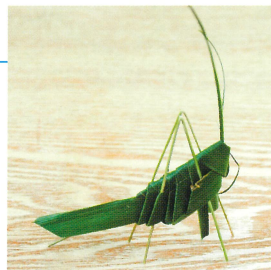
**ソメイヨシノ**  
えど  
江戸時代に染井村（現・東京都豊島区）から生まれたサクラ。ヨシノは古くからのサクラの名所・奈良県の吉野山から付けられました。  
[4月頃]

**シュロ**  
じゅろ  
茶色い樹皮は、たわしなどになります。葉っぱを使ってこんなハツタの工作を楽しむこともできます。

裏面につづく



晴れて空気が澄んでいるときには、ここから旧実篤邸の屋根越しに富士山が見えます。





# 【実篤公園・下の池周辺】

植物名のうしろの数字は、関連する解説シート「もっと知りたい」の番号。観察しやすい場所を示しました。



上の池と下の池をつなぐ滝



## ●カクレミノ

木が年をとると切れこみのない葉っぱが出てきます。成長によって葉っぱの形が変わっていくめずらしい木です。



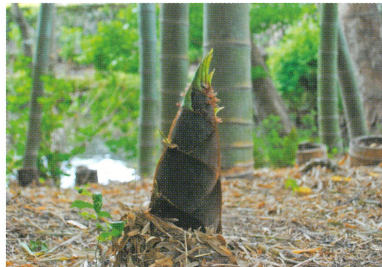
## ●ミズキ

【8月頃】

春に枝を折ると水がしみ出てくるからミズキ。コケシやお祝いの箸の多くはこの木から作られます。

## ●フユサンゴ(50)

## ●ナンテン(51)



## ●モウソウチク

【4月頃】

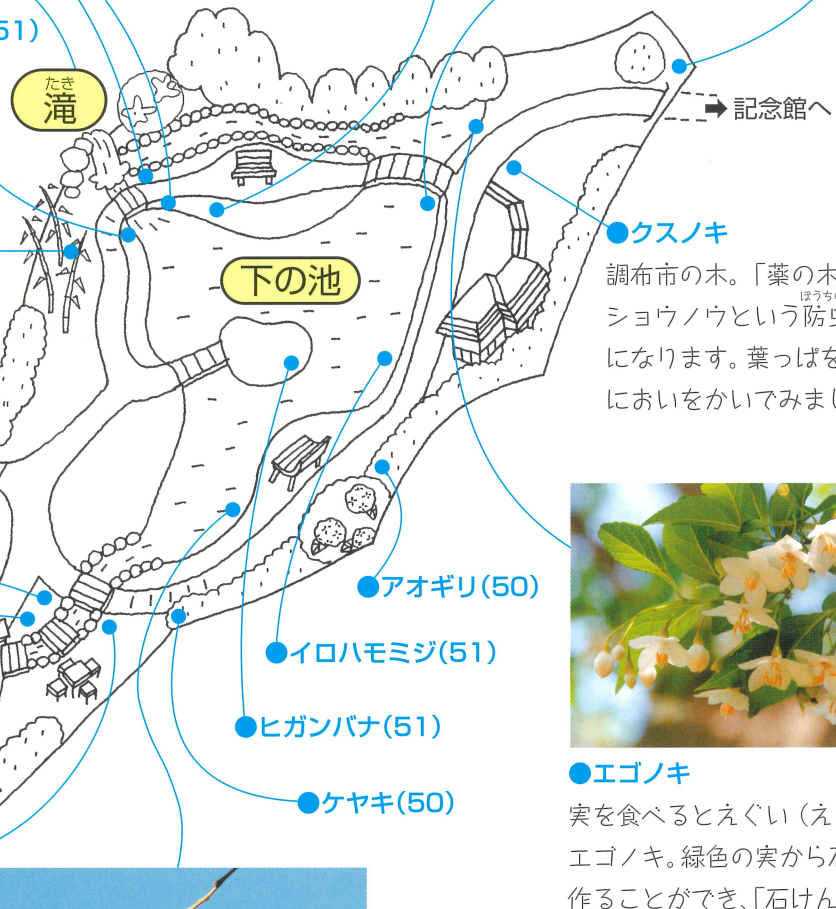
この地域には昔、食用の筍をとる竹林があり、実篤公園でも毎年、たくさんのおいしい筍がとれます。

## ●センリョウ(50)

## ●マンリョウ(50)

## ●ヒカリモ(51)

## ●コブシ(50)



## ●ムクノキ(50)

## ●クスノキ

調布市の木。「薬の木」が語源。ショウノウという防虫剤の原料になります。葉っぱをひろって、においをかいでみましょう。

## ●アオギリ(50)

## ●イロハモミジ(51)

## ●ヒガンバナ(51)

## ●ケヤキ(50)



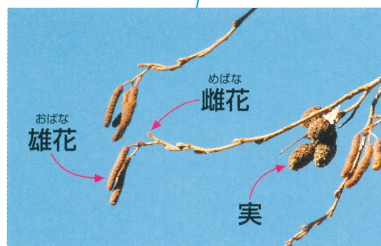
## ●エゴノキ

【5月頃】

実を食べるとえぐい(えごい)のでエゴノキ。緑色の実から石けん水を作ることができ、「石けんの木」とも言われます。

## ●ハンノキ

ひも状のものが雄花で、その基にある小さな出っぱりが雌花、松ぼっくり状のものが実。この茶色の実は、布を茶色く染めるときに使われます。



【1月頃】

名前の由来や、生活とのかかわりを  
知ると、植物への理解が深まるね。